

## 【公表】事業所における自己評価総括表

○事業所名	柿の木苑		
○保護者評価実施期間	令和6年12月2日	～	令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和7年2月3日	～	令和7年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童一人一人の現在課題となっている事に対して丁寧に話を聞き、支援を行う事が出来ている。	ご家族様からの家庭での心配事や関わり方への相談にも、職員全員が丁寧に聞き取り、助言するようにしている。	突発的な課題に対しても、すぐに保護者様、児童との面談を行う事が出来るよう体制を整えていく。
2	事業所内での活動の様子を自由参観として保護者様に見学と一緒に活動に参加していただいた。	児童一人一人の活動の様子を見て頂く事に加えて、太鼓演奏の発表会も開催した事で、学校生活では見られなかった自信を持って発表する姿を見る事が出来たとの感想もいただく事	開催日程が2日間で、体調不良や仕事の都合により参加できない保護者様がいらっしゃった為、次年度は開催期間を増やす予定としている。
3	学校や他事業所、相談支援専門員との情報共有を密に行うようにしている。	送迎時には学校担任と事業所での様子や課題となっている事、他児童との関り方について細かくお伝えするようにしている。状況に応じて、担当者会議や情報交換会を開催を行っ	これからも、ご家族様や学校、相談支援専門員からの要請だけでなく、事業所からも担当者会議や情報交換会の開催を提案して、より良い支援に繋げていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方々との交流が少ない。	新型コロナウイルス感染対策として、交流を控えていた面が強くなる。	現在ご利用いただいている児童が通っている学校の児童クラブとの連携を密に行い、可能な限り交流の機会を設けていく。
2	医療的ケア児に対する体制が充実していない。	医療的ケア児についての研修に参加できていない職員が多い。	次年度は医療的ケア児についての研修に参加する事を検討している。

## 【公表】保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		柿の木苑		公表日		令和7年3月13日		
				利用児童数		14		
						回収数 12		
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている。	11	1	0	0	・参観に参加できなかった為、評価が難しいです。	
	2	職員の配置数や専門性は適正であるか。	11	1	0	0	・参観に参加できなかった為、評価が難しいです。	
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか。	11	1	0	0	・参観に参加できなかった為、評価が難しいです。	
適切 な支 援の 提 供	7	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか。	12	0	0	0		
	10	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか。	12	0	0	0		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか。	-	-	-	-		・感染症防止対策の為実施していない
保 護 者 へ の 説 明 等	12	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	12	0	0	0		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか。	12	0	0	0	・送って頂いた時、その日の様子を伝えてもらえるのはとても安心できるし、ありがたいです。	
	16	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。	11	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	8	4	0	0	・いつも相談に乗っていただいて、本当に助かっています。 ・参観に参加できなかった為、評価が難しいです。	
	19	子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	2	0	0	・懇談会をまた、楽しみにしています。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	12	0	0	0		
	21	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	2	0	1		
非 常 時 等 の 対 応	23	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。		-	-	-		・感染症対応マニュアルのみ都度書面にて配布しています。
	24	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか。	10	1	1	0		
満 足 度	28	子どもは通所を楽しみにしているか。	9	3	0	0	・学校が休みでも行きたいと言うほど、子供は楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足しているか。	12	0	0	0		

## 【公表】事業所における自己評価結果

事業所名		柿の木苑			公表日 令和7年3月13日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		活動ごとに場所を区切って環境調整を行っている。また、注意が散漫になりやすい児童に対して、活動に集中できるよう個別のエリアを設けている。利用人数の増加により、プレイエリアでの児童同士のトラブルに発展する事が見られるようになっていた為、ジョイントマットを一人分のスペースでセットし、集団活動や複数人での活動の際には広げて使用するようになっている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		送迎時間が重なった場合は、他部門と連携し、対応している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		スロープ、多目的トイレを設置している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		毎日職員間でのミーティングを行い、前回利用時の様子から本日特に注意して見守り行う点等の情報共有、問題の早期解決、対応方法の統一に努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		評価表に加え、自由記入欄を設け、記入して頂き、日々の支援に活かしている。活動の参観をしたいとの要望があり、今年度は2回に分けて保護者様の自由参観日を実施し保護者様より「柿の木苑での様子を見る事が出来て良かった。とても楽しかった。」とのご感想をいただく事が出来た。来年度は野菜を育てるなどの農作業体験や食育プログラムの充実の希望があった為、自由参観日と合わせて実施に向けて検討している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		公表している。保護者へはアンケート実施時に公表する事についてお知らせしている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		自己評価表で課題を見出し事業計画に反映している。また、理事会で報告している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		月1回、事業所内での研修を行っている。また、個人学習の為、サポートカレッジの活用をしている。今年度は、強度行動障害についての外部研修への参加を行っている。来年度は、医療的ケア児についての研修等への参加を検討している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		個別評価表にて精神状態、運動機能、日常生活動作、生活関連活動、対人技能、作業能力を更に細かい項目に分けてアセスメントを行い、5領域に関連付けた個別支援計画の策定に反映させている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		気付きのチェックリスト、遠城寺式も併用してアセスメントを行っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		毎日一人一人のタイムスケジュールをミーティングで作成している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		タイムスケジュール表をファイリングし、活動の振り返りや見直し、新しい活動の検討を行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		今年度は数年ぶりの外出行事や調理実習を実施する事が出来た。その他、昨年度好評だった苑内でのレクリエーション等の集団活動、個別活動、工作等取り入れ、平日は自分で選んで活動できる「選択活動」のスケジュールを設けていた。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		利用人数が多い日や、下校時間が早い日、長期休暇には集団活動を取り入れている。集団活動では楽しみながらコミュニケーションを学習する場として児童同士、職員とのやり取りを大切にしている。集団活動への参加を苦手としていた児童が最後まで参加できるようになっている等、一人一人の成長も見られている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		スケジュール、送迎担当、下校時間の確認、前日の様子、注意して見守り・対応すべき点、学校の担任・保護者への確認事項等、毎日ミーティングを行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		毎回ミーティングを行い、状況に応じて支援内容の見直し、対応方法の確認、保護者から伺った情報などの共有を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		記入漏れの無いよう、対応や状況のメモを残したり、職員間で情報共有をし、記録している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		ケース会議内で職員全員での見直しを行い、検証している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		同じ組み合わせにならないよう、振り返りを行っている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者、主任が行っている。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	
関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		送迎時の情報共有、電話での確認、必要に応じて学校主催の情報交換会に参加している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		看護師が主体となって行う。また、医療的ケア児に対する外部研修への参加も予定している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		電話での情報共有、支援、対応についてのアドバイスを頂いている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		移行支援会議には必ず参加し、情報の提供、共有を行っている。法人内で生活介護、就労継続B型へ移行する場合も多く、卒業後の本人へのアフターフォロー、職員との支援についての検討にも力を入れている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		本人、家族へのアプローチ方法、医療機関への相談、家族、本人が医療機関でのカウンセリングの際には、要望に応じて柿の木苑での様子や対応についてまとめた資料を提出し、柿の木苑での対応について等のアドバイスを頂いている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	感染症予防対策の為、今年度は実施していない。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○	法人としては、相談支援、就労分野での参加はあるが、児童での参加は行っていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時や連絡帳、必要に応じて電話での情報共有を行っている。家庭、学校、事業所での対応に大きな差が無いよう努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		助言後のフォロー、アセスメントの他、次の目標設定等、家族と一緒に検討している。今年度は家族との懇談会を開催し、保護者様同士での情報交換（修学旅行や宿泊学習の様子、家庭での対応や困り事等）の時間を設けた。
保護者への説明等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明し、都度質問があれば説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談しやすい関係を築けるよう努めている。家庭での対応や家族が感じる不安等についての相談にも丁寧に感じるよう努めている。送迎時だけでなく、その時の困り事の内容（学校への行き渋り等）に応じて緊急に面談等の時間を設け、問題解決、不安の解消に努め
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		家族との懇談会を開催し、保護者様同士での情報交換（修学旅行や宿泊学習の様子、家庭での対応や困り事等）の時間を設けた。また、懇談会後にはランチ会食も実施し、同じ部門や年代だけでなく幅広く保護者様同士の親睦に繋がるよう努めた。参加した保護者様から「とても良い情報交換の場になった。次回もぜひ参加したい。」とのご感想を頂く事が出来ていた。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情の窓口など、契約書に記載し、契約時に説明している。事業所内廊下にも掲示している。 苦情があった場合はマニュアルに沿って迅速・適切に対応してい
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		法人の会報に加え、行事や日常の様子の写真を思い出アルバムとして児童にレイアウト、作成していただき、持ち帰って頂いている。家族との懇談会では、活動の様子の写真や児童の作品も掲示して観覧いただいている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		研修などで職員に周知徹底している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		必要に応じて連絡帳と口頭での二重の説明・確認を行っている。児童に対しては、説明後に十分理解できているか、納得出来ているかを確認する等、個別に対応している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		例年は年1回の「柿の木苑まつり」を開催しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症予防対策の為、開催していない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		職員への周知は行っている。保護者へは以前は年度の初めに家族との懇談会の中でマニュアル説明を行っていたが、今年度は新型コロナウイルス感染症予防対策の為、開催していない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に避難・救助訓練を行っているが、児童が利用している時間帯に行う事が少ない為、長期休暇で児童の参加も計画している。また、訓練の前の防災学習も計画している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		委員会を設置し、事業所内での研修を行っている。また、年1回セルフチェックリストを実施し、自他の振り返りを行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		危険防止の為の制止等、状況、必要性、時間帯等を個別支援計画に記載し、説明行い同意を得ている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アレルギーのある方へは説明し、医師からの除去食等の指示書を頂くようにしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		委員会を設置し、事業所内での研修で事例検討を行っている。